

～ 結城賞 ～



田邊 賢司

略 歴

昭和47年9月11日生
平成8年3月 慶応義塾大学工学部 卒業
平成14年3月 東北大学大学院医学系研究科 修了
平成14年4月 東北大学加齢医学研究所 免疫遺伝子制御分野
博士研究員
平成17年4月 岡山大学大学院医歯薬学総合研究科生化学分野 博士
研究員
平成19年11月 岡山大学大学院医歯薬学総合研究科生化学分野 助教
現在に至る

研究論文内容要旨

変性性末梢神経疾患の一つであるCharcot-Marie-Tooth病（CMT）は様々な原因遺伝子が固定されている。CMTの原因遺伝子の一つとして2005年に報告されたダイナミン2は、細胞内輸送に重要な役割を果たす遺伝子として世界中で研究されてきた。しかし、CMTでみつかるダイナミン変異体には既知のダイナミンの機能が障害されておらず、その病態との関連性、メカニズムは不明のままであった。本研究では、ダイナミン2がin vivoで細胞骨格の一つである微小管に結合し、その動態を制御している事を世界で初めて示した。さらに、CMT変異体では微小管の制御機構が破綻している事を見出し、異常な微小管重合の誘導や微小管に依存した細胞内輸送が破綻している事を発見した。本研究はダイナミンによる細胞骨格制御を見出すと同時に、CMTの病態解明につながるものとして非常に重要といえる。